

「競争力強化に関する研究会」 ～ DBJの具体的な取り組みについて

研究会における 問題提起	DBJの具体的な取り組み
「構想力」強化 と 「場」の必要性	企業(CTO/CIO/実務家/有志)・ファイナンス・社会科学分野の専門家等がつながり、将来のビジネスコンセプトをデザインする、「<u>大手町イノベーション・ハブ</u>」(仮称)をDBJ本店ビル内に開設します。 ➤ 多様なステークホルダーとの対話を通じたアイデアの協創 Observation / Ideation / Collective Intelligence ➤ 新たなコンセプトとバリューチェーンを構想する「チーム」との出会い System Design / Validation / Feasibility Study ➤ 事業を創造する人材育成と交流 MOT/System Design Management School   全国的な「運動化」の起点とすることも念頭に、最終報告に向けた今後の研究会での議論等も踏まえながら、具体的な運営を行っていきます。
リスクマネー の必要性	「<u>競争力強化支援ファンド</u>」(仮称)の立ち上げ DBJでは、競争力強化に向けた<u>企業等の前向きな取り組みを後押し</u>するため、迅速に本格的取り組みを開始し、年度内にも新たなファンドを創設します。 (金額規模は、当初数百億円程度から順次拡大し、最終的には2～3千億円を想定) このファンドでは、 ① バリューチェーンが一体となって取り組む新たな事業創出、 ② 異業種間連携等による、新たな価値創造・事業創出、 ③ 十分な事業基盤を有する事業体に眠る高度な技術などを活用した新規事業、 ④ バリューチェーンコア企業等が取り組む、研究開発・人材育成・生産基盤強化等に資する事業活動、 等を支援・後押しするための<u>リスクマネー(メザニンローン・優先株等)</u>を供給していきます。